

第5次総合計画 前期基本計画 施策評価シート

施策名	自然共生社会の構築		施策番号	27
主担当部署	部名	部長名		
	経済環境部	田中 丈司		

計 画 (Plan)				
総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち
		基本政策	8	自然と調和した住みよいまちづくり
		施策展開の方向	2	みんなの努力で環境にやさしいまちをつくる
施策展開の方向 (内容)	環境教育や啓発活動の充実により、自然の大切さを伝えるとともに、市民、事業者、行政が一体となって自然との共生に取り組む、環境にやさしいまちをつくります。 省エネルギー化の推進、ごみの減量化や資源化を進め、地球環境にやさしい持続可能な社会が実現できるまちをつくります。			
施策内容	誰もが自然と共生する暮らしの大切さを理解するよう、家庭や地域、学校など、様々な場で環境教育を実施するとともに、環境保全に関する啓発活動の充実を図ります。 また、きれいな水や豊かな緑など、本市のもつ優れた自然環境を次代に引き継ぐため、持続可能な自然共生型の地域づくりを推進します。			
目標とする状態	市民の自然環境を大切にしている意識が高まり、数々の動植物とともにくらすことができ、自然からの恵みを受けています。			
目標の達成度を測る指標	【指標名】	区分		
		【当初値】	【目標値】	
	環境学習実施回数	64回	70回	
	アユがすめるレベルの河川数	4河川	7河川	
施策を構成する「主な事業」	主な事業	事業の概要		
	環境学習・啓発推進事業	教育機関や市民、事業者と連携し、環境教育や環境保全に関する啓発イベントなどを実施します。		
	水源環境保全再生事業	水路の多自然型護岸整備により、日向地区の水源環境を保全し、水生生物の生息環境を守ります。		
	生活系雑排水対策事業	合併処理浄化槽の普及促進により、生活雑排水による水質汚濁を防止し、河川の良い水質を守ります		

施策実施 (D)

指標の達成状況	【指標名】	当初値	目標値	目標の方向	実績・見込(下段:達成率)			
					H25	H26	H27	H29見込
	環境学習実施回数	64回	70回	↗	83回 118.6%	91回 130.0%	84回 120.0%	85回 121.4%
アユがすめるレベルの河川数	4河川	7河川	↗	8河川 114.3%	9河川 128.6%	8河川 114.3%	9河川 128.6%	

コスト	年度	H25年度 実績額		H26年度 実績額		H27年度 実績額		H28年度 予算額		H29年度 計画額	
	事業費合計(a)	9,470	千円	15,746	千円	15,698	千円	41,486	千円	3,551	千円
	人件費合計(b)	5,880	千円	6,160	千円	6,090	千円	6,090	千円	6,090	千円
	トータルコスト(a)+(b)	15,350	千円	21,906	千円	21,788	千円	47,576	千円	9,641	千円

市民意識	項目		平成27年度		満足度と重要度の相関図			その他の市民ニーズ、意見	
	満足度	施策の値	0.34		↑ 重要度 ↓	← 満足度 →	A B C D		A 優先的課題 B ニーズ充足 C 現状維持 D 選択的課題
		平均値	0.32						
	重要度	施策の値	1.11						
平均値		1.20							
0.32									

■施策を構成する「主な事業」の目標達成状況

NO.	事業番号	事業名	事業指標	当初値	H27年度目標	H27年度実績	目標達成状況	所属名
1	27-101	環境学習・啓発推進事業	環境学習参加者数	2,713人	2,820人	3,551人	◎	環境対策課
2	27-102	水源環境保全再生事業	生態系に配慮した水路の整備延長	L=30m	L=270m	L=131.1m	△	農業振興課農林整備担当
3	27-103	生活系雑排水対策事業	補助事業による合併処理浄化槽設置基数	1,385基	1,404基	1,404基	◎	環境対策課
4								
5								
6								
7								

■施策を構成する「主な事業」の平成28年度評価結果(平成27年度事業分)

NO.	事業番号	事業名	進捗状況	実施水準	有効性	効率性	今後の方向性	所属名
1	27-101	環境学習・啓発推進事業	A	—	A	B	A	環境対策課
2	27-102	水源環境保全再生事業	C	B	A	A	A	農業振興課農林整備担当
3	27-103	生活系雑排水対策事業	A	B	A	A	A	環境対策課
4								
5								
6								
7								

↓ 評価 (Check)へ

評 価 (Check)

<p>指標(施策の目標)の達成度評価 〔選択・記入〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 既に達成している(A) <input type="radio"/> 順調に進捗している(B) <input type="radio"/> 遅れているが達成する見込み(C) <input type="radio"/> 遅れており達成が見込まれない(D) 	A	左記判断理由	<p>「環境学習実施回数」は、積極的な事業展開により目標値を達成している。 「アユがすめるレベルの河川数」についても公共下水道の水洗化率の向上や合併処理浄化槽の普及促進により目標値を達成している。</p>
<p>「目標とする状態」に向けた取組手法の有効性 〔選択・記入〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C) 	A	取組による成果	<p>小学校や子ども科学館等への環境学習指導員の派遣、また市民環境団体との協働による「いせはら環境展」や「ストップ温暖化展」による環境学習を通して環境保全に関する啓発活動の推進、さらには、合併処理浄化槽設置に係る補助制度を活用した水質改善や、多自然型水路の整備による動植物の良好な生息環境の向上など持続可能な自然共生型の地域づくりを推進する上で、有効な取組みがされていると考える。</p>
<p>市民意識の反映 〔選択・記入〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 反映している (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね反映している (B) <input type="radio"/> 反映できていない (C) 	B	左記判断理由	<p>市民意識調査の結果では、満足度が平均点を上回っており、市民意識の反映は概ね満足していると考えられる。 また、生活系雑排水対策事業についても着実に進行しており、8河川については良好な水質が保たれている。</p>
<p>施策を取り巻く環境変化</p>	<p>第2期かながわ水源環境保全・実行5カ年計画が平成28年度をもって終了し、29年度からの第3期実行計画においては、水源環境への負荷軽減を図るため、水源保全地域全体の生活排水対策を促進することとなった。</p>			
<p>施策推進上の課題</p>	<p>河川水質の向上を図るためには生活排水処理施設の整備促進とともに、合併処理浄化槽の適正な維持管理を図るため浄化槽法に基づく点検・清掃の実施についての啓発が必要である。</p>			

↓ 施策の改善 (Action)へ

施策の方向性 (Action)

<p>今後の方向性の判断</p>	<p>取組の方向性 〔選択〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 拡大して実施 <input checked="" type="radio"/> 継続実施 <input type="radio"/> 縮小して実施 <input type="radio"/> 抜本的見直し 	左記判断理由	<p>自然を大切にし、豊かな自然環境を次代に引き継ぐため、環境学習指導員の派遣や市民団体との協働による環境展などの啓発活動、生活系雑排水対策事業を継続して実施する。</p>
	<p>施策の方向性 〔選択〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 見直し 	左記判断理由	<p>自然と共生する暮らしの大切さを理解し、環境にやさしいまちをつくるため、引き続き、環境教育や環境保全に関する事業を実施し、自然共生型の地域づくりを推進する。</p>